



「手洗い」「マスクの着用」「3密の回避」を徹底しましょう!

# パパも育休を！育児・介護休業法が変わります。



詳細はこちら  
厚生労働省HP

男性の育児休業取得を促進するため、育児・介護休業法が改正されました。  
令和4年4月1日からは、段階的に「育児休業がより取りやすく」なります。

改正の  
ポイント

check



## ●令和4年4月1日から

- 育児休業を取得しやすい雇用環境の整備や、各制度の個別周知・意向確認の措置がすべての事業主の義務になります。
- 妊娠や出産について、申し出をした労働者（本人または配偶者）に対して個別の周知・意向確認をしなければなりません。
- 有期雇用労働者の育児・介護休業の取得要件が緩和されます。

## ●令和4年10月1日から

- 産後パパ育休（出生時育児休業）が創設されます。
- 育児休業を分割して取得できるようになります。



	産後パパ育休 (R.4.10.1～) 育休とは別に取得可能	育休制度 (R.4.10.1～)	育休制度 (現行)
対象期間 取得可能日数	子の出生後8週間以内に4週間まで取得可能	原則子が1歳（最長2歳）まで	原則子が1歳（最長2歳）まで
申出期限	原則休業の2週間前まで	原則1か月前まで	原則1か月前まで
分割取得	分割して2回取得可能 (初めにまとめて申し出ることが必要)	分割して2回取得可能 (取得の際にそれぞれ申出)	原則分割不可
休業中の就業	労使協定を締結している場合に限り、労働者と事業主が合意した範囲内で休業中に就業することが可能	原則就業不可	原則就業不可
1歳以降の延長	—	育休開始日を柔軟化	育休開始日は1歳、1歳半の時点に限定
1歳以降の再取得	—	特別な事情がある場合に限り再取得可能	再取得不可

## 第3次かすがい男女共同参画プランを策定しました

男女共同参画社会実現のため、「互いに個性を尊重し 誰もが自分らしく輝ける社会」を目指す姿に掲げ、令和4年度から令和8年度までの5年間に推進していく施策を定めました。詳しくはコチラ▶▶▶



### 相談窓口のご案内

- DV相談 (電話・面接・WEB面接) ..... ☎0568-85-7867  
火～日曜日 9:00～12:00 13:00～17:00  
面接・WEB面接は原則予約
- オンラインDVほっと相談 (メール相談) ..... ✉dv-soudan@city.kasugai.lg.jp  
パソコンや携帯電話から、いつでも相談できます。 ※返信には2～3日以上かかることがあります。
- 女性の悩み相談 (電話・面接) ..... ☎0568-85-7871  
火～金曜日 13:00～16:30  
面接は原則予約
- 女性のための法律相談 (面接のみ・予約制) ..... ☎0568-85-4401  
土曜日(原則第1～4) 10:00～12:00  
予約受付 9:00～17:00
- 愛知県女性相談センター (女性悩みごと電話相談) ..... ☎052-962-2527  
月～金曜日 9:00～21:00、土・日曜日 9:00～16:00 (祝日、年末年始は休み)
- 愛知県男性DV被害者ホットライン ..... ☎080-1555-3055  
毎週土曜日 13:00～16:00 (第5土曜日、祝日、年末年始は休み)
- 内閣府「DV相談+」 ..... ☎0120-279-889  
24時間受付

託児付きの相談も受け付けています。相談希望日の1週間前までに予約が必要です。(対象：1歳以上の未就学児)

車のことなら・・・ KAGAMI  
有限会社  
カガミ自動車  
春日井市気噴町北2-52  
☎0568-51-2251

### かすがい市男女共同参画情報紙

『はるか』 vol.51 2022年4月発行

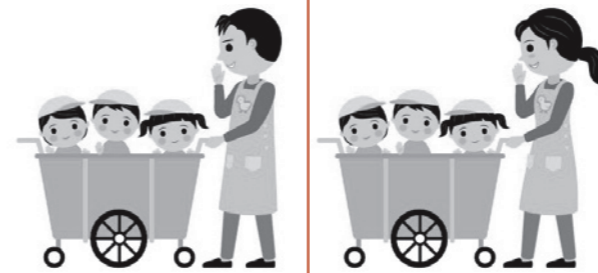
企画・編集・発行 春日井市民生活部男女共同参画課  
〒486-0844 春日井市鳥居松町2-247  
TEL: 0568-85-4401 FAX: 0568-85-7890  
Eメール: danjo@city.kasugai.lg.jp

# はるか

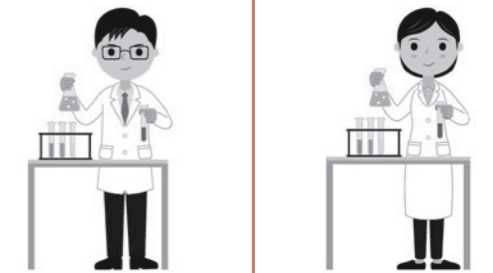
VOL.51  
2022.4

## ◆特集◆ “気づく”ことから始めよう アンコンシャス・バイアス

### 保育士といえば？



### 科学者といえば？



思い込みは無いだろうか!?

性別、血液型、出身地、学歴など、一部の情報で「こんな人」と決めつけていることはありませんか。また、周りのみんなと同じ考えを持ったり、同じ行動をしたりすることを当たり前と認めていませんか。

それは「アンコンシャス・バイアス=無意識の思い込み」かもしれません。アンコンシャス・バイアスは誰にでもあるもの。あること自体は悪いことではありませんが、言動となってあらわれたときに、誰かをもやもやさせてしまうことがあるのです。

今回の特集では、誰にでもあるアンコンシャス・バイアスとどう向き合ったらいいか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

### 目次

《特集》“気づく”ことから始めよう アンコンシャス・バイアス

☆はがき1枚からの男女共同参画

☆パパも育休を！育児・介護休業法が変わります



アンコンシャス・バイアスについて皆さんと考えるため、一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所の太田さんにお話をお聞きました。



一般社団法人  
アンコンシャスバイアス研究所  
理事 太田 博子 さん

アンコンシャス・バイアスとは？

無意識の思い込みのことを言います。

過去の経験や、見聞きしてきたことに影響をうけて、無意識に「これはきっとこうだ」「これが当たり前だ」と判断していることがあります。実際、その判断が正しいこともあります、正しくないこともあります。

性別に基づくアンコンシャス・バイアスとは？

例えば・・・

- 「親が単身赴任しています」と聞くと、父親を思い浮かべる
- 男性から育児や介護休業の申請があると「奥さんは？」と咄嗟に思う
- 子育て中の女性には転勤を伴う仕事の打診はしないほうがいいと思う

これらはほんの一例ですが、アンコンシャス・バイアスは、日常や職場にあふれています。

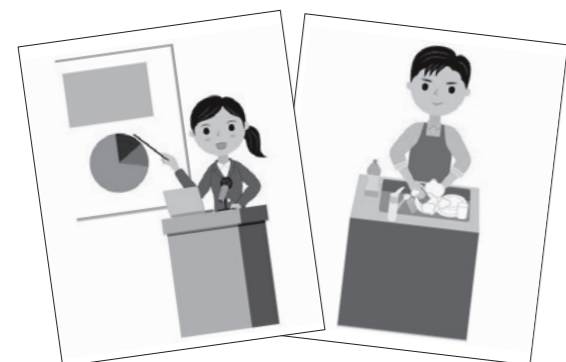
そう思うことの何が問題なの？

アンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、キャリアに影響を及ぼしたり、自分自身の可能性を狭めてしまうことにつながります。



例えば、「子育て中の女性には転勤を伴う仕事の打診はしないほうがいいと思う」というアンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、どんな影響やどんな問題に発展するかについて考えてみましょう。

配慮のつもりで、子育て中の女性社員に、転勤を伴う仕事の打診をしなかったとしても、もしかしたら、その仕事に挑戦したいと思っていたかもしれません。また、「転勤を伴う仕事の打診は、男性ならいいだろう」と考えていると、ひとりひとり、様々な事情があるにもかかわらず、断ることができない状況を作り出してしまいかもしれません。



アンコンシャス・バイアスは、他者に対してのものだけではなく、自分自身に対してもあります。

もう、この年齢だから・・・

私に管理職なんて、無理・・・

このように思い込んでしまうと、自分らしいキャリアの形成ができなくなってしまいます。挑戦する機会も失ってしまいます。

自分らしい生き方にも影響する？

>>>

まずは気づくことから

アンコンシャス・バイアスは誰にでもあるもの。無意識がゆえに気づきにくいかもしれませんが、ぜひ、次の点に気をつけて向き合っていきましょう。

決めつけない  
押しつけない

相手の表情や態度の  
変化に注目する

「これって、私のアンコンシャス・  
バイアス？」と、気づこうとする

アンコンシャス・バイアスは、決めつけや押しつけの言動となってあらわれます。自分の決めつけや押しつけの言動に気づいたなら、アンコンシャス・バイアスを疑ってみましょう。

そして、相手が違和感をもっていそうだったら、そのままにせず、対話をしましょう。

もし、アンコンシャス・バイアスによる言動が、相手の心のあと味を濁してしまったのなら、「気づかなくてごめんなさい」とお詫びの気持ちを伝えてみてください。

アンコンシャス・バイアスに気づくことは、周りの人や自分自身の可能性を広げることにつながります。

「周りと一緒にではないといけない」と思っていると息苦しいですが、「人と違っていい」ことがわかれば、自分の個性を大切にできるかもしれません。自分を知ることは、新たな挑戦をすること、夢を持つことにもつながります。大切なことは、一人ひとり、その時々と向き合うことです。

まずは「私から」始めて、「半径数メートル」に広げていきましょう。

はがき1枚からの男女共同参画

愛知県では、広く県民の皆さんに男女共同参画について考え、理解を深めていただくため、10月の県の男女共同参画月間に合わせ、「わたしが暮らすなら、こんな男女共同参画社会」をテーマとして、男女共同参画社会への思いをはがきに描いた作品を募集しました。

選考委員会での選考の結果、応募のあった463作品の中から愛知県立春日井東高等学校の星野百香さんの作品が最優秀作品の一つに選ばれました。



春日井東高等学校  
星野 百香 さん

星野さんに、作品に込めた思いなどを聞きました

自分らしさを育み 夢を形に



最優秀作品の一つに選ばれました！

男女共同参画について家庭科の授業で勉強しました。世の中には性別によって仕事のイメージがあって、就く仕事に差があるのは変だなと感じていました。その思いをはがきに描きました。

学校では男子生徒の方が多いですが、差を感じることはありません。今はボランティア部に入っていて、老人ホームに掃除に行ったり、交流しに行ったりする活動をしています。メンバーは男女同じくらいいて、みんなで頑張っている活動しています。

私は将来、獣医か看護師になりたいと思っています。周りの友達もそれぞれの夢に向かって頑張っています。

女性も自分の意志で働ける、男性も自分の意志で家庭を大切にできる、そんな社会になってほしいと思います。